

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：土木費 項：土木管理費 目：建設業指導監督費

事業名 優秀建設現場従事者表彰費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

県土整備部 技術検査課 建設人材育成係 電話番号：058-272-1111(内4566)

E-mail：c11656@pref.gifu.lg.jp

1 事業費

275 千円 (前年度予算額： 275 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	275	0	0	275	0	0	0	0	0
要求額	275	0	0	275	0	0	0	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜県では、「ものづくり」に携わる者の誇りと意欲の増進、建設現場従事者の社会的地位の向上を図るため、建設現場において工事施工に従事している方を対象に、平成4年度から毎年優れた能力・資質を有する建設現場従事者を表彰している。

(2) 事業内容

①対象

- ・岐阜県内で建設業に従事している者
- ・20年以上にわたって工事施工に直接従事している者
- ・年齢35歳以上60歳以下の者

②表彰基準

- ・技術・技能が優秀である者
- ・技術開発、施工の合理化を図り、顕著な成績を挙げている又は建設工事に相当の実績のある者
- ・後進の指導育成に努めている者
- ・工事の施工において安全・衛生の向上に貢献している者
- ・他の建設現場従事者の模範となる者

③選考方法

・各土木事務所長から推薦があった者について、建設産業関係者で構成する表彰選考委員会において審査のうえ、選考する。

【岐阜県優秀建設現場従事者表彰選考委員】(6名)

岐阜県建設産業団体連合会会長、(一社)岐阜県建設業協会会長

(一社) 岐阜県建築工業会会長、(公社) 岐阜県建築士会会長
岐阜県土木施工管理技士会会長、東日本建設業保証(株) 岐阜支店長

④実績

・ 643名(平成4年度～令和6年度の累計)

(3) 県負担・補助率の考え方

社会基盤の整備は、優れた能力・資質を有する建設現場従事者に支えられている。これらの者を顕彰することを通して、「ものづくり」に携わる者の誇りと意欲の増進、建設現場従事者の社会的地位の向上を図り、建設業の担い手の確保につなげる必要がある。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	48	選考委員謝金
旅費	8	表彰者選考会選考委員費用弁償、業務旅費
需用費	156	表彰記念品代、表彰状印刷代
役務費	5	クリーニング費
委託料	58	写真撮影・現像代
合計	275	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

無

(2) 国・他県の状況

①国の状況

・建設マスター(優秀施工者国土交通大臣顕彰 被顕彰者)は、建設産業に従事している現役の技術者の中で、第一線の現場作業に従事し、卓越した技能・技術を有している「ものづくりの名人」に対する大臣表彰で、平成4年度から毎年実施されている。

②他県の状況

・28の都道府県において建設現場従事者に対する表彰を実施している。

(3) 後年度の財政負担

無

(4) 事業主体及びその妥当性

社会基盤の整備は、優れた能力・資質を有する建設現場従事者に支えられている。これらの者を顕彰することを通して、「ものづくり」に携わる者の誇りと意欲の増進、建設現場従事者の社会的地位の向上を図り、建設業の担い手の確保につなげる必要があり、県が実施することが妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

社会基盤の整備は、優れた能力・資質を有する建設現場従事者に支えられている。これらの者を顕彰することを通して、「ものづくり」に携わる者の誇りと意欲の増進、建設現場従事者の社会的地位の向上を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H3)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						達成率
表彰者数	0名	643名	663名	683名	—	—%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 4 年度	各土木事務所長から推薦があった者について、建設産業関係者で構成する表彰選考委員会において審査の上、18名の被表彰者を決定し、表彰を行った。
	指標① 目標：608名 実績：606名 達成率：99.7%
令和 5 年度	各土木事務所長から推薦があった者について、建設産業関係者で構成する表彰選考委員会において審査の上、19名の被表彰者を決定し、表彰を行った。
	指標① 目標：628名 実績：625名 達成率：99.5%
令和 6 年度	各土木事務所長から推薦があった者について、建設産業関係者で構成する表彰選考委員会において審査の上、18名の被表彰者を決定し、表彰を行った。
	指標① 目標：645名 実績：643名 達成率：99.7%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>社会基盤の整備は、優れた能力・資質を有する建設現場従事者に支えられている。これらの者を顕彰することを通して、「ものづくり」に携わる者の誇りと意欲の増進、建設現場従事者の社会的地位の向上を図り、建設業の担い手の確保につなげる必要がある。</p>
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>平成4年度から毎年表彰を行い、令和6年度までの被表彰者の累計は643名となっている。</p>
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 1	<p>表彰に要する最低限の経費(表彰状、記念品等)で実施している。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 後継となる現場従事者の目標となるよう、毎年適正に表彰を実施し、本制度の品質を保持する必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 引き続き優秀建設現場従事者表彰を通して建設現場従事者の意欲の増進等を図っていく。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	